

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（検査促進枠）の実施状況及び効果（令和5年度実施計画分）

No.	事業名	事業の分類	事業概要	事業の実施状況及び効果	総事業費	臨時交付金 充当経費
1	感染拡大傾向時における PCR等検査無料化事業	定着促進事業分	定着促進事業として、無料検査を実施する検査機関、薬局等の事業者を支援する。	無料検査として、PCR検査10件、抗原検査546件を実施。県外から鳥取に来られた方の検査ニーズ等に応えることができた。	2,362,807	2,362,807
2	感染拡大傾向時における PCR等検査無料化事業	一般検査事業分	感染拡大時に感染不安がある無症状の県民に対して検査受検を要請した場合の検査費用を無料化するため、無料検査を実施する検査機関、薬局等の事業者に対して検査費用を補助する。（無料検査については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（検査促進枠）を8割充当、残りの2割部分に同交付金（通常分）を充当）	無料検査として、PCR検査35,896件、抗原検査4,216件を実施。無症状の県民の検査ニーズ（陰性確認）に応えることができた。	355,615,323	284,492,000
3	感染拡大傾向時における PCR等検査無料化事業	検査体制整備等支援 への対応分	検査実施場所等(検査実施場所、検体採取場所)の整備に係る経費を補助し、県営会場やコールセンターの運営を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・県営会場 県中部と西部に各1箇所の臨時無料PCR検査拠点を設置。 ・コールセンター 問合せ専用窓口オペレーターを2名配置し、203件の問い合わせに対応した。 	19,418,797	19,418,797